

第6回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会 会議録

■開催日時・場所・出席者

日時 : 平成30年12月13日(木) 午後5時00分から午後7時05分まで

場所 : 鴨川市役所4階大会議室

出席者 : 以下のとおり

【出席委員】

No.	氏名	備考
1	鈴木 健史	(一社) 鴨川市観光協会 会長
2	藤巻 武仁	(一社) 鴨川市観光協会 副会長
3	福田 雄一郎	鴨川市商工会 前青年部長
4	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
5	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
6	川井 幹雄	鴨川サーフィングクラブ 会長
7	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
8	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 教授
9	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
10	橋詰 良子	地域おこし協力隊
11	岡野 大和	公募による市民
12	川上 周一	公募による市民
13	林 良樹	公募による市民

【欠席委員】

No.	氏名	備考
-----	----	----

1	清水 宏	鴨川市商工会 観光サービス業部会長
2	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
3	中橋 健二	鴨川シーワールド 営業推進支配人
4	菅原 明善	(一社) 鴨川市青年会議所 副理事長
5	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部
6	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
7	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長
8	大内 洋	公募による市民
9	庄司 修	公募による市民

【業務委託請負業者】

No.	氏名	備考
1	安田 景憲	鴨川観光プラットフォーム株式会社 事業推進統括
2	豊島 まゆみ	豊島まゆみ事務所 代表 鴨川市プロジェクトマネージャー

【市行政関係者】

所属・職	氏名	備考
鴨川市建設経済部長 兼商工観光課長	平川 潔	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐	小柴 則明	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 観光振興係長	影山 光一	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 新たな観光づくり係 主査	濱野 和明	事務局

■配布資料

- ①次第
- ②席次表
- ③ウェルネスシティ鴨川構想案（岡野委員提案資料）
- ④前原横渚海岸現況の問題点・要望（久根崎委員提供資料）
- ⑤持続的地域貢献活動実習活動計画書（林委員提供資料）
- ⑥フィッシャリーナ周辺、構想図面（川上委員提供資料）
- ⑦前原地区・『リノベーションまちづくり』・『ほしい暮らしは自分でつくる』企画（川上委員提供資料）
- ⑧海辺の魅力づくりを通じた交流のまちづくり推進事業（豊島まゆみ事務所資料）
- ⑨海辺倶楽部資料等

■会議要旨

1 開会（午後5時00分）

2 委員長あいさつ

渡辺渡辺委員長よりあいさつがなされた。

既に委員の皆さんへは、メールにて連絡・承知のことと思うが、前回委員会において、委員会において広く意見を集約することも大事であるが、なかなか意見が深まらないので少人数による意見の深堀も必要ではないかと意見があり、これを受けて、鈴木副委員長より小委員会で意見を詰めて、それをベースにして全体の委員会で議論をしては、という提案があったところである。

この流れで、全体の委員会で定まったことを行政・プラットホームで実施し経緯を報告し、必要な対応と修正をすることにした。

委員長から、本日の会議の議事録署名人として、福田委員及び久根崎委員が指名された。

3 議事

(1) 小委員会からの提案について

林委員より③資料の説明。千葉大学等と連携した事業を行っている旨の説明。

(久根崎委員)

④本資料は、ユニバースホテル周辺の関係者等から意見をもらったものを取りまとめたもの。

現在の人の流れ等を考えるとメインとなる場所は市民会館周辺になるものと考えている。

(林委員) 入浴施設をつくるのであれば、森林を活用したバイオマスを使うとよい。

(鈴木健史委員) 市民会館前の海は波が高く、一般の海のアクティビティには不向きであり、フィッシャリーナ側の海が静かでありそちらがよい。

(川井委員) フィッシャリーナ側が一番静かで、サーフィン経験には丁度よい。しかしテトラポットがあり狭く、多くの人には利用できない。テトラポットは設置する場合ひとつ100万円だか設置したものを移動撤去する場合は300万円くらいかかるらしい。

(藤巻委員) スポル品川で人口サーフィンの設備ができ、多くの来客を呼んでいる。こういった施設には多額の予算がつき込まれている。

フィッシャリーナについては、産業廃棄物で埋め立てられたと聞いているが、問題はないのか？川に汚染物質がにじみ出ているといううわさもある。

(渡辺委員長) 出来るものと出来ないものの整理が必要である。

(平川部長) 産業廃棄物で埋め立てられたという話は聞いていない、経緯等確認させていただく。

(鈴木健史委員) フィッシャリーナ後背地については、コンテナなどの可動できるもので整備をしていくことがよい。

(久根崎委員) フィッシャリーナの海側の県の土地（うみ太郎のわき）の活用はできるのか？

(平川部長)

鴨川漁協と本日、話をしてきたが、現在フィッシャリーナ全体を網干し場として使用しているが、ほかの場所があればそこでも可能であるとの意見もあった。

現在、トイレと駐車場としてしている県の土地（漁港管理地）については、使用ができる方向で調整をしているため、状況によってはそちらを網干し場の代替地として利用する場合もある。

(水谷委員) フィッシャリーナの漁協の土地について買取の予定はあるのか？

(平川部長) 網干し場の代替地の確保が必要であるが、漁協としては買い取った金額での売却は可能である。当時の買取価格は2億円程度である。

(久根崎委員) 漁協の土地を2億円で取得するよりも、どちらが先といわれれば、市民会館周辺の土地であろう。

(平川部長) ハード整備の金額が拡大するかもしれない。

(藤巻委員) 企業はもうけられなければ来てくれない。

(鈴木健史委員) フィージビリティスタディ、これをやったらどれくらいお客さんがくるのか？実現可能性が大切である。

(岡野委員) 三浦海岸では、ゲーム系のきぎょうがビーチコートを運営しており、ライブスタジオやビーチハウスを行っている。

(鈴木健史委員) 日本ビーチスポーツ協会があるが、そこである程度わかるのでは？

(岡野委員) 日本ビーチスポーツ協会はおくれており、情報がない。事例で調査するしかないのでは、日本では3つか4つ程度である。

(豊島プロジェクトマネージャー) クリップ止めの資料を用意させていただいたが、その中で必要な調査はさせていただく。

◎川上委員より⑥フィッシャリーナ周辺、構想図面及び⑦前原地区・『リノベーションまちづくり』・『ほしい暮らしは自分でつくる』企画、について説明があった。

(岡野委員) 自分が提案したものを元にしていただいた。久根崎委員がいうように中心となる場所は市民会館となるということは、不動である。フィッシャリーナについてはあまりお金をかけずあとで移動が出来るものがよいであろう。

ビーチコートについては、草が生えている広大な場所の利用も考えたほうがよい。

砂質が問題であり、ベトナムやオーストラリアから輸入しているところもある。

産廃で埋め立てられているという問題は、なるべくお金をかけずに、ほじくらない、箱物をつくらぬことでなんとかならないか？

- (川上委員) ハード整備としては、トイレ位になるのではないかな。
- 駐車場については、有料にするのがよいのでは、どちらにしる文句がでるので安くてもお金をとるのがよいと思う。サーフィンに来る人はどう感じるであろうか？
- (川井委員) お金をとって大丈夫である。
- (岡野委員) 前にも話しをしたが、プラットフォームに管理してもらい、楽に稼いでもらう。マルキポイントはお金になる。
- (川上委員) P F I でも可能では？
- (村永委員) 海辺のとおりは通行止めできないか？
- (水谷委員) 警察からは地域の方の署名が必要といわれている。通行止めに関しては、以前地域の人が、反対した経緯がある。
- (川井委員) 駐車場が狭い。最近、車が大きく、ふた枠占領している車もある。
- (水谷委員) バーベキューのごみをすてていく。規制が必要である。
- (藤巻委員) ドッグランがあるとよい。
- (鈴木健史委員) 今回、構想を図におとしたが、儲ける仕組み・要素がなくなってしまったように感じる。
- (岡野委員) スケートボードやボルダリング、新たにオリンピックの種目に加えられた競技であるが、そういったものを取り入れる方がよい。また、それら競技の第一人者が普段から利用、来ていることが効果的で、すごい人がいるだけで、人が集まる。
- (安田事業推進総括) 3月にグランピングの実証実験を行ったが、グランピングを行うために必要と思われたものは、トイレと倉庫、あれば温水シャワーである。
- (岡野委員) 欧米では、必ず「食」がセットになっている。入れるべきである。
- (村永委員) 海岸周辺での移動はどう考えているのか？
- (川上委員) 歩行移動が基本と考えている。
- (岡野委員) 太平洋岸自転車道について、2020年までに国から補助がでるのでは？
- (鈴木健史委員) サイクリングステーションとしての整備も必要かも。
- (福田委員) 待崎川から東条海岸へのサイクリング道については通行止めとなっているのではないかな？
- (川井委員) 東条海岸は砂がなくなっており、波のパワーが直接、自転車道に来てしまう。
- (久根崎委員) 海辺を走るにしても、九十九里と鴨川のイメージはだいぶ違う。
- (岡野委員) 自転車道については、和田も千倉もほったらかし（管理がされていない）となっている。
- (川井委員) ビーチウォークについて、茅ヶ崎とかにもあるがレベルが全然ちがう。そこに何かなければだめ。いろいろなことが出来るとよい。
- (川上委員) 房総地域は景色が様々で変化に富んでいる。
- (岡野委員) 房総は魅力的である。
- (川井委員) 海岸線の重要性を認識すべき。
- (平川部長) プロムナードの内側は管理用道路として整備されたものである。
- (水谷委員) 夜ならライトアップをするとよい。つい先日、レジーナのお客さんからなにもないねといわれた。アピールも積極的にするべき。ホコ天も活用していきたい。

- (村永委員) 待崎川付近にストレートにいける橋があるとよい。
- (水谷委員) 車で前原海岸地区に行くには、駅が邪魔、動かしてもらいたい。(亀田病院付近に)
- (渡辺委員長) 道路の整備は重要事項である。
- (林委員) 様々な意見が出てきている。大学にも提案していきたい。
- (渡辺委員長) 計画3年目であり、拠点を作りたい。
- (豊島プロジェクトマネージャー) アウトプットとして、唯一貸してもよいといっている、A-18をコアスペースとして使いたい。インターネットをつなげるなどの環境を整備し集まりやすい場所としたい。また、空き店舗として、よさそうな物件も当たっていききたい。(福田はかりやの裏など)
- (渡辺委員長) 集まる場所がない。
- (鈴木健史委員) 観光拠点として、現在96%車で来るのに、観光案内所が駅前にある。駐車場もない。
- (豊島プロジェクトマネージャー) 立ち寄り場所は必要である。
- (渡辺委員長) この検討自体をすすめる拠点として考える。
- (橋詰委員) 拠点があると、誰かが常駐していなければ駄目。だれでもよいからいるようにすることが重要。
- (村永委員) 渋谷直通のバスが出るようになったが、鴨川を紹介する拠点が必要では。
- (平川部長) 渋谷区の観光協会と話をしている。
- (川井委員) サーフィンについて、手ぶらで修学旅行等でも活用できる。スタッフはどうにでもなるので、仮設でもよいので施設があるとよい。
- (渡辺委員長) サーフボードの購入等も備品購入等で検討してもよい。それを誰がやるのか、何をやるのが重要。
- (川井委員) 昨年度事業でキッチンカーの話があったが、その後の活用はどうか？
- (安田事業推進総括) 5月ころにフラワーセンターに貸し出した実績がある。

- (2) マリンスポーツ等を中心とした多様なレクリエーション機会の提供事業について
鴨川観光プラットフォーム株式会社 安田景憲事業推進統括から説明がなされた。
海辺倶楽部の入会状況について、現在11団体からの申込みがあった。
また、海辺の体験プログラム構築ワークショップについて、11月16日(金)に第2回目の開催があり、申込み定員を大きく超えた参加があったところである。
第3回目は、12月21日(金)に開催される予定であり、商品開発にとりかかる予定である。

- (3) その他
次回の会議について、小委員会の決定を受けて開催を調整させていただく。

4 閉会(午後7時05分)

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

平成30年12月14日

福田 雄一郎

久根崎 達郎